

2025年春夏号 007

想

い

OMOI



婦人公論連携企画 ●特別インタビュー

菊川 怜さん (タレント)

「小倉智昭さんを偲んで」

「人生を楽しむ」ことをモットーに
病も前向きに捉えていました

お盆特集

- 寺院紹介「豊川閣 妙厳寺」
- 抽選で豪華賞品が当たるプレゼント
- 三遠地域のお店のご紹介(特典付)
- 仏壇のお取り扱いをご紹介します



昭和23年創業 お仏壇のたなか
(株)田中仏具店グループ

1世帯1冊のお届けになることをご了承ください

故人様への想い

“西瓜が食べたい...”と言っていたね。

ビールでも飲んでゆっくりしていったね！

それはまるで一緒に過ごしているようなごく自然な声掛け。

姿は見えなくなっただけど、いつも一緒にいるよ。”

そんな気持ちで過ごしてもらえたら故人様は最高に幸せです。

私たちのご先祖様は25代前まで遡ると三千三百万人以上お見えになります。

人生は山あり谷あり

いろんな試練と向き合っている時も三千万人以上のご先祖様は

“頑張れ!!”、“大丈夫!!”

今を懸命に過ごしてみえるご家族の方々をしっかりと見守って応援してくださっていることでしょう。

もうすぐお盆です！

ご先祖様(故人様)に“いつもありがとうございます”の想いを込めて

お支度なさってみてください。

きつとお盆のお支度も楽しみになることでしょう。

弊社スタッフ一同、全力でサポートさせていただきます!!会報誌より想いを込めて。

※宗派によりお盆の作法は異なります



創業者
田中 吾一



初代会長
田中 つや子



株式会社 田中仏具店

常務取締役

田中 廣恵
ひろえ

代表取締役社長

田中 己喜
みき

取締役会長

田中 衛
まむる

～ご寺院様・宮司様をお迎えする際のおもてなし品～

- ①おしぼり お干菓子を召し上がっていただく前にお使いになります。

- ②穴あき茶托 一般的な茶托より少し高さがあることが特徴です。こちらはご寺院様・宮司様など功德を積まれた方へ対しての敬意を示した茶托です。

- ③お茶 お勤めの前に喉を潤していただきます。蓋付湯呑がお薦めです。
(夏は汚れが入らない様に・冬はお茶が冷めない様に心遣いが表される湯呑です。)

- ④お茶菓子 個包装されたものがお薦めです。
(お干菓子) その場で召し上がられなくてもお持ち帰りすることが出来ます。

- ⑤お懐紙 カイン お干菓子の下に敷きます。
慶事と弔事で折り方が異なりますがお盆は弔事(上にくる面が左下がり)になります。



蓋付き湯呑



お懐紙



↑ 慶事の際



↑ 弔事の際

会報誌発行について

会報誌“想い”はお仏壇購入のゴールドカードお持ちの方・葬祭部エコー会員様へ1世帯1冊お届けしております。ただし、春夏号に関してはお盆の手引きとしてお初盆を迎えるお客様(位牌注文された方)も追加して発送させていただいております。2022年よりゴールドカードの情報を元に会報誌を発行しておりますのでお仏壇購入の方でゴールドカードに切替手続きがされていない方は店頭にて切替手続きをお願い申し上げます。



初盆小物のご案内

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～枕米セット～ 初盆の故人様限定の特別な手土産です

01

米袋に戒名・施主名を記入します。
どなたのお供え物が把握できるように記入します。

02

お米1升をさらしの袋に詰めます。
一生食べ物に困ることのないように一升(1.5kg)詰めます。

03

米袋の入口を縫い、さらに米袋の頂点に
5円玉を縫い付けます。
5円玉は三途の川の運賃(六文銭)。
お金に苦労しない様に御縁があつてまた帰れるように
と気持ちを込めて5円を縫い付けます。

04

扇子を添えます。
道中、暑さをしのげるように持たせてあげます。

05

わらじを添えます。
裸足では足が傷付くのでわらじで保護してあげます。

06

麻ヒモで結びます。
わらじの鼻緒が千切れた時に繫げるために
麻ヒモが必要です。※持ち手ではありません。



↑米袋三角

枕米セットを準備される方へ

弊社オリジナル 献米セット

をご紹介します。



お引渡し7月10日以降

- ★戒名・施主名を記入
- ★5円玉の縫い付けも致します。

今年度より数量限定販売とさせていただきます。
お米が無くなり次第完売とさせていただきます旨
ご理解の程よろしくお願い致します。

国産米
1.5kg(一升)
美味しいお米を
食べていただき
たいと毎年多く
の初盆を迎える
お客様からご用
命いただしてい
ます。

～お供え物～

乾麺・線香・籠盛など(枕米セットと一緒に故人様へお供えします。)

お盆期間中お供えしますので日持ちするものがお薦めです。

※のし(短冊)には戒名・施主名を記入します。

菩提寺の施餓鬼棚へお供えする迄は、ご自宅の精霊棚に飾ります。



初盆の時の
お供え見本→

～松明(たいまつ)～

※菩提寺によっては数が異り、松明以外で対応する場合もあります。

初盆の方のみ108本追加します。(百八の煩惱を焼き払い清浄の心で新仏様をお迎えします)

お墓から我が家までの道のりを迷うことないように道しるべとします。

(現在は交通事情もあり、お墓でまとめて焚き上げます。)

迎え火の
順序

- ①墓前にて一束、松明を焚きます。
- ②玄関先で一束、松明を焚きます。
- ③その火を仏壇のろうそくに灯します。

送り火の
順序

- ①玄関先で一束、松明を焚きます。
- ②墓前で一束、松明を焚きます。



ほうろく皿→

～お初盆の返礼品～

お初盆のお供え物を戴いた場合は、その場で感謝の気持ち(燈籠下り)を渡します。

素麺・洗剤・タオル等、日持ちしてなおかつ残っても利用出来るものを選びましょう。

※事前に準備する為、数がつかめません。7月中旬には揃えておきましょう。

半返し感覚なので1,000円～1,500円が選ばれます。(過分に戴いた場合は別途用意しましょう)

熨斗の
書き方→

燈籠下り
〇家

東三河エリアの盆飾り

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～精霊棚の飾り方～

毎年お飾りします。

01

白布をかける。

02

"まこも"を敷きます。

ご先祖様をお迎えする為の新畳なので毎年新調します。

03

五如来旗を吊るします。(施餓鬼会の後、お寺様から配布されます)

お盆期間中のご本尊様になります。

精霊棚の高い位置に吊るしましょう。

04

位牌を仏壇から出して棚に移動します。

向かって右が位が高い為、右側から初代様を並べます。

05

花立・火立・香炉も同様に移動させます。

大きな花瓶でお花をたくさん飾ってあげても喜ばれます。

06

供物をお供えします。(夏野菜・果物等お供えしましょう)

15日はお団子をお供えします。

お団子は帰られる際のお弁当になります。

07

牛馬を並べます。

馬は仏様を乗せて、牛は荷物持ちをしてくださいます。13日(戻って来られる時)は内側に、帰られる時は外側にむけて飾ります。

08

水の子(餓鬼飯)をお供えします。

蓮の葉の上に精米とナス(さいの目)・キュウリ(さいの目)を混ぜた物)

餓鬼は喉が細いので細かいさいの目にして用意します。

09

お膳に湯呑・皿をのせて精進料理をお供えします。

※お皿の枚数は決まっています。

(お食事は13日・14日・15日のみ差し上げます)

10

はし木を切って箸を用意します。

箸は毎度毎度、新しく準備します。



↑ まこも



↑ 牛馬



↑ お膳白皿セット



↑ はし木



↑ 片口

※お寺様が施餓鬼経をあげに見える時に追加される小物

① 霊供膳(お盆用お膳・白皿・はし木は使いません)精進料理をお供えします。

② 片口 水を入れ、ミソハギの葉を浮かべておきます。お清めに使用します。

～お霊供膳の並べ方～

お膳の並べ方は、**ご寺院様、地域によって異なります。**ご確認の上、配置ください。



仏様側



仏様側

平椀のふたが一番大きい

汁椀↓ 平椀↓

汁椀のふたは平椀と同じ
大きさですがより深さがある
ほうが汁椀になります

飯椀のふたが一番小さい

飯 椀 メシワン

白米を盛ります。

汁 椀 シルワン

ネギ(香りの強い食材)は抜きます。

平 椀 ヒラワン

メインティッシュになります。

煮物3・5・7種にします。

坪 椀 ツボワン

胡麻和え・豆(魔を減する)等

高 皿 タカザラ

漬物ふた切れ盛ります。

※お箸(手前)は仏様に向けます。

※片付けの際はお椀・蓋、合わせて
9個揃っているか確認しましょう。

お盆飾り参考例

お盆飾りは宗派・菩提寺・地域によって異なります。当店のお飾りはあくまで参考です。

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～



お寺様からお経をいただく時のお盆飾り例

お作法の詳細は菩提寺様へご確認ください。



～切子提灯～

切子提灯は故人の寢床として、**お初盆の時だけ**用意させていただく、特別なお提灯です。

長い旅路お疲れ様でした。ゆっくり休んでください。
と思いを込めて準備します。

切子提灯の極楽鳥は金襴の中でお休みになっている
お精霊様を見守るために下向きに飾ります。

一度だけで納めてしまいますが、
金襴の生地は残して念珠袋等、
お年忌の返礼品として使われます。



～神道の方へ～

お作法の詳細は宮司様へご確認ください。

※お提灯は白色系が一般的です。



お作法

- ①お盆は祖霊とその子孫である家族が家に集まる時です。
- ②季節の物などお供えて祖霊をもてなし、近況などを奉告します。
- ③お供え物は水・米・酒・塩・餅・魚・野菜・果物などの生饌。
- ④故人が生前好んで食されていた調理された食材、常饌をお供えてください。

～門徒の方へ～

お作法の詳細はご院主様へご確認ください。



切子灯籠…門徒さんは切子灯籠を毎年飾ります。

目蓮尊者様のお母様が逆さ吊になっている姿を切子灯籠で表しています。

ご先祖様があって、今の自分が存在していることへの感謝の想い。いろんな方へのお慈悲の気持ちを忘れない為に飾ります。

お作法

- ①お盆前日までに仏壇の掃除・仏具のお磨きをします。
- ②お提灯・打敷を掛けます。
- ③供花に御餅(またはらくがん)をお供えます。※御餅は最高のご馳走になります。
- ④朱ろうそくを用意します。
- ⑤14.15日の両日は朝・夕にろうそくを点けてお焼香をしてお勤めします。

御寺院紹介

豊川閣 妙厳寺



↑ 法堂 令和6年4月竣工

法堂間口／15間(約27メートル)

奥行／30間(約55メートル)※位牌堂を含む

法堂畳数／238畳

堂内手前が法堂(浄聖殿)、奥は位牌堂(宝雲殿)とした神聖な空間が広がっています。

大間正面「浄聖臺(台)」の額、(旧法堂を客殿として使っていた際「浄聖臺」と呼ばれていました。)表には曹洞宗大本山総持寺独住第一世奕堂禪師が揮毫された「妙厳禪寺」の額がかけられています。

法堂は朝・昼・晩の勤行、大法要等を行う道場です。

※禅宗では本堂のことを法堂といいます。

御本尊 千手観世音菩薩(おなかの辺りにガラス窓があり胎内仏となった以前の本尊様を拝むことが出来ます)実際に1042本の御腕がある千手観音様は国宝や重要文化財になっているものが多く非常に希少な仏像がお祀りされています。

妙法蓮華経観世音菩薩普門品というお経の中に「観世音浄聖 於苦惱死厄 能為作依怙」と書かれており「観音様は清浄にして聖なる存在です。世間の悩める衆生をあらゆる苦悩や死厄から救ってください。」という意味があります。



↑ 位牌堂(宝雲殿)

初七日～三十三回忌までの守り本尊である十三尊仏を始め、およそ3,600柱のお位牌がお祀りされています。妙厳寺檀家・豊川稲荷信者のお位牌 豊川海軍工廠戦没者諸精霊のお位牌 徳川家 初代～14代までのお位牌 今川義元公のお位牌 旧宮家 有栖川宮家のお位牌 大岡越前守忠相公のお位牌



↑ 木蓮華 4尺15本立

貴重な仏具はその深みを修復という形で残しています。総塗替・箔押し1号箔(純度97.66%)新品仕上げ当時の独創的な茎の曲線からは何とも言えない臨場感が伝わります。



↑ 通天廊 昭和5年施工

書院から本殿・法堂に到る高架の渡り廊下。巾二間余(約4m)・長さ百間余(約200m)。天井は楠・他は桂材が用いられています。※法堂落慶式・晋山結制式時撮影



↑ 令和6年11月22・23日に行われた

法堂落慶式・晋山結制式

数年前から着々と準備された形が集大成となり当日は快晴にも恵まれ盛大な式が執り行われました。



三十五世住職 福山 憲隆

豊川閣 妙厳寺

住 〒442-0033 豊川市豊川町1番地

☎ 0533-85-2030

宗 曹洞宗



↑ 旧法堂の古木材で作成されたお念珠 形は変わっても旧法堂の証として 皆様の手元で大切にされることでしょう。



とよかわだきにしんてん 豊川吒枳尼眞天の由来

道元禪師のお弟子になる寒巖義尹禪師(第八十四代順徳天皇の第三皇子)は「時勢を救う」の大信念を貫いて支那(中国)に渡り、ご帰朝の際、いよいよ船に乗って海上に出られた際、たちまち霊神が空中に姿を現わされ、妙相端麗稲束を荷い、宝珠を掲げ、白狐に跨つて声高らかに「庵戸羅婆陀尼黎呬娑婆訶」と唱えたまい、禪師に「われはこれ吒枳尼天なり、今より將に師の法を護するにこの神咒を似して、又師の教化に帰服する者を守りて、常に安穩快樂ならしめん、必ず疑うこと勿れ」とお告げになったかと思うと、お姿はかき消すごとく消えました。禪師は深く感激せられ、護法の善信としてお祀りになり、常にお弟子に彼の神咒を唱えし、御祈祷するように訓られました。

寒巖禪師の大信念はそのまますお弟子に伝えられ、五代目・華藏義曇禪師(静岡県普濟寺開祖)により寒巖禪師の禪風を挙揚せられました。その後、華藏禪師のすぐれたお弟子の一人である東海義易禪師(北条氏出身)により円福山妙巖寺を開創されたのであります。それはちょうど寒巖禪師滅後百四十年、1441年足利七代義尚將軍の時であります。

妙巖寺御開創の折り、本尊として寒巖禪師伝来の千手觀世音菩薩像をお祀りし、又、山門の鎮守として吒枳尼天像を祀られました。

豊川吒枳尼眞天の信仰は封建時代には東海地方に起った各武將達の信仰を中心として武運の長久を祈り、商人は商売の繁栄を祈念し、農家は五穀の豊饒を願い、漁師は大漁の満足、海上の安全を祈願するようになり、広く浸透し今日では海外にも及んでおります。これは吒枳尼眞天のお姿に表れている通り、神通妙用、万徳円満の御霊徳によるものと申さねばなりません。

〜靈場 豊川稲荷より〜

↑山門を入って正面は法祖寒巖禪師御自作の「豊川吒枳尼眞天」をお祀りする御眞殿です。こちらが「豊川稲荷」の名で知られ全国幾百万の御信者の信仰の中心、御祈祷の根本道場になります。御祈祷をおつとめする施主殿には有栖川宮熾仁親王御染筆の「豊川閣」の三文字の額がかかっています。明治時代に至り、有栖川宮家より「豊川閣」の大額が下賜されたことから「豊川閣」と呼ばれるようになったそうです。本殿手前両側にはお稲荷様の神使と言われる狐さんが阿吽の呼吸で据えられています。



→お題目「南無豊川吒枳尼眞天」の意味
南無…帰依する。敬う。
豊川吒枳尼眞天を帰依(尊敬)します。という言葉です。
通称「豊川稲荷」と呼ばれていますが正式名称は豊川吒枳尼眞天になります。



→神咒「庵戸羅婆陀尼黎呬娑婆訶」の意味
眞心を通じ、正明なる戒力により、悪事災難を除き福德知恵を得、苦を転じて樂となし、悲しみを転じて喜びとなすことが必ず成就する。という意味。
7回唱える方が多いですが本来は21回唱えます。



↑総門
総樺造り、銅板コケラ葺きの堂々たる建築。門扉は「如輪目」のけやき一枚板で作られ無類のものであります。



↑山門
東海禪師を支え開基となった今川義元公より寄進された当山最古の建造物。
山内ただ一つの丸瓦葺き。

仏壇お取り扱い説明書

お手入れ方法

- お仏壇の中のご本尊、お位牌、仏具等、固定されていない高欄(こうらん)など、お掃除中に落下するものはすべて外に出してください。
- 柔らかい毛ばたきで上部から下部にかけて順番に埃を払います。
その後、柔らかい布(乾いたもの)で拭いていきます。
乾いた布でとれない汚れは、固く絞った布で一度軽く拭いてください。
その後、乾いた柔らかい布で表面の水気を取ってください。



高欄



- 金箔部分については布での拭き掃除はさけてください。
埃が付着した時は毛はたきで軽く払ってください。

注意

金箔部分を指で触れないでください。変色の原因となります。
毛はたきの羽根の軸が出ていると傷をつけますのでご注意ください。

照明器具

- 電球交換をするときは、今まで使用していたものと同じワット数(W)にしてください。
器具の容量を超えたものを使用していますと過熱し、火災の原因となります。
- プラグとコンセントの隙間にほこりがたまると、
徐々に炭化してショートが起き
火災の原因となります(トラッキング現象)。
- 火災防止のため、お仏壇から離れるときは、
必ず照明器具を消してください。



安置場所について

× 熱気・乾燥

熱すぎる暖房は空気が乾き、木地にいたみが出て割れが生じます。

× 光・照明

基本的にどのような光も、お仏壇によい影響はありません。
特に直射日光や蛍光灯の紫外線を当て続けると、
お仏壇の木地や塗り、打敷・リン布団等、
布を変色させる原因となります。

× 湿度・水分

お仏壇の安置場所に湿気がこもると状況ですと、
お仏壇の金具にさびが生じます。
また、真鍮仏具も変色する場合があります。
花立から水をこぼしたり、水分が付着した場合は
必ず拭き取ってください。

× 床の傾き

お仏壇の重量でたわまない
丈夫な床の上に水平に
安置してください。
傾いた場所に置くと、
扉障子が勝手に開閉して
しまうだけでなく
引き出しの開閉に不具合が
生じたり、お仏壇本体が変形し
元に戻らなくなります。

× 塩分

海岸沿い・温泉の近くなど潮風が当たるところでは、
お仏壇の金具や金箔が錆びたり変色したりする事があります。
酸やアルカリ、人の汗の塩分なども、いたみの原因となります。



構造上の注意事項

- お仏壇の膳引(ぜんび)きは、いっばいに引くと抜け落ちる場合がございます。
家具調タイプの膳引きはストッパーが付いていることが多いです。
- お仏壇の棚が可動式の場合は確実に取付けてください。
棚が外れますとお仏壇本体・仏具の破損またはケガ、床を傷つけてしまうことがあります。
- お仏壇の近くにストーブなど熱が当たらないようにご注意ください。
- お仏壇の前に置く経机に手をついて立ち上がったリ、踏み台の代わりにするような体重をかけますとお経机の足が折れてケガをする恐れがあります。
- 花立、湯呑、仏器等は仏器膳や仏具敷きを使用して直接お仏壇に水気が付かない様にしてください。
水に濡れた場合は、速やかに水分を拭きとってください。



膳引き



仏具敷き



経机

無垢材の特徴と注意事項

- 無垢の木は数年ねかした材を使用しておりますが、生きておりますので湿気を吸ったり吐いたりし、伸び縮みをします。
そのためご使用になる環境や気候により、反りや割れが生じる場合があります。
温度や湿度の急激な変化のない場所、乾燥する季節には加湿器などのご使用をおすすめします。
- エアコンの吹き出し口の近くや直射日光も同様に避けて下さい。
また、高温・多湿の部屋でのご仕様は、カビ・ダニが発生し健康を害する原因になりますのでお部屋の換気も十分にして下さい。
- 天板に直接、硬いものや濡れたもの、熱を持ったものを置くとシミや変色の原因になりますので仏具敷きマットのご利用をお勧めします。



鏡面・ウレタン(塗料)仕上げの特徴と注意事項

- 表面をウレタン塗料の皮膜で被った仕上げです。水分の吸収がないためシミが残らずお手入れが比較的に楽に行えるのが特徴です。
- 常にカラ拭きのお手入れですが汚れが気になる場合はよく絞った布で拭いて下さい。
※長時間放置した場合、シミや褐色など跡が残る場合があります。
- 鏡のように磨き上げるので美しく仕上がりデザイン性が向上します。
- 硬いものとの接触や摩擦によって細かな傷がついてしまうことがあるためご注意ください。



金仏壇のお取扱い注意事項

- 表面に金箔を押して仕上げてある為、金箔部分は触れずに漆部分のみ埃を取る程度にしましょう。
- 金箔部分は拭き取ることで下地の漆部分が黒く見えてしまうため触れないようにします。
- 漆部分の拭き取りは空拭きで水気のないようにします。
- 金箔部分の汚れは職人の技で修復します。

※金箔は10000万分の1mm~1.2mmの極薄の高級品です。



水分が残った状態



金箔を拭いた状態



お仏壇も末永く綺麗に大切にしていただけるようにサポートさせていただきます。



田中仏具店グループに 届けられた 会員様の声



I様 蒲郡市【蒲郡店】

山本さんにはお世話になり感謝しています。

K様 豊川市【八幡会員】

掛軸特集を読んで掛軸には、季節によって掛けたり、法事、お盆に掛けたりする掛軸があると知り、我が家に掛かっている掛軸をあらためてながめてみました。いい機会をいただきました。

Y様 豊川市【八幡会員】

寺院紹介では近くを通っているのにどんなお寺か分からなかったのも、紹介してくれるのはありがたいです。正願寺、素敵なお寺ですね。

M様 豊川市【本店】

いつも想を送って下さり参考に拝読させて頂いています。
勉強になる事ばかりです。有りがとうございます。

A様 豊川市【八幡会員】

平成13年に父が亡くなってから仏壇や提灯等の購入では大変お世話になりました。
その後はろうそくや線香の購入で利用する程度になりました。
元々信心のなかった私ですが少しは先祖を偲ぶようになりました。

I様 幸田町【蒲郡店】

3年前に父、1年前に母が亡くなり、何も知らない私に親切にいろいろ教えてもらいました。
本当にありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

I様 湖西市【湖西会員】

以前買った仏壇がサイズがちょうど良く色も良く大満足しています。

I様 豊川市【八幡会員】

先日実家（西尾）の母の初盆や一周忌を行いました。弟から盆提灯や供物等の相談があり、何と答えたらよいか分からなくて、田中仏具店に聞いたところ、親切に教えて下さり助かりました。

K様 豊川市【八幡会員】

会報誌はいつも楽しみにしています。仏だんの飾り方、お霊膳のならば方などすぐ忘れてしまう為大事に会報誌をとってあります。とても助かります。

K様 新城市【本店】

掛軸特集、たいへん参考になりました。
なかなか掛軸について知る機会がなかったので、この会報誌を保存しておきたいと考えています。
こうした企画を今後もお願いします。感謝、感謝！
個人上の保護にも気を使っていることは丁寧な取扱いうれしかぎりです。

K様 豊川市【八幡会員】

義姉の葬儀でお世話になりました。とても親切にいただきました。
親族で2度お世話になりました。ありがとうございます。

次ページにも掲載していますのでご覧ください

S様 豊橋市【岩田会員】

アンジェリカさんでクーポンを利用させて頂き、
とてもおいしい焼菓子をプレゼントに頂きうれしかったです。

S様 豊橋市【本店】

今回の掛軸とても興味深い内容でした。家に掛軸ありますが意味を知らずかけてありました。
五年祭の時何度も相談にのって頂きありがたかったです。

M様 豊川市【本店】

“ありがとう”の言葉は相手を笑顔にしますね。たくさん使って過ごしたいと思いました。

Y様 豊川市【本店】

田中仏具店様にはたいへんお世話になりました。他のスタッフさんの気遣いにありがたく思います。
この先も貴社の発展に期待してます。

I様 豊川市【本店】

終活を考えなくてはいけないと思いながらも手をつけることができていなかったのが現状です。
会報誌を読み具体的な事が分かり、少しずつ進めなくてはと思いました。
考えるヒントになりありがたいです。

O様 設楽町【本店】

今回の秋冬号の特集「お題目」は参考になりました。
以前地元の和尚様のお経のお話の法話の中で最後に“皆さんと一緒にお題目をとねましよう”と
いわれ多勢の方が「ナムアミダブツ」と称えたら和尚様がうちは「ナムジャカムニブツ」ですと
いわれよく判らなかったのが今回の特集でよく理解できました。また教えて下さい。

K様 豊川市【本店】

毎号読ませていただいています。秋冬号では掛軸、興味深くいろいろな事が
わかってうれしかったです。又1本(1幅)ほしくなりました。

S様 豊川市【八幡会員】

我が家にも掛軸があります。親からの品だから、特に意識せずにかけていました。
今回いろいろわかり大変役に立ちました。

S様 湖西市【湖西会員】

「知っておきたい祭祀承継者の役割とは？」の記事や自筆証書遺言についての記事が
興味深かったです。高齢者になっても知らないことが多いと実感しました。

S様 豊川市【八幡会員】

お盆(初盆)の時も参考になりました。今回も掛軸が参考になりました。
我家は「南無釈迦牟尼佛」の掛軸があり、法事の時に出してありますが
曹洞宗なので合っていたと信じれました。

N様 豊川市【本店】

会報誌の最初に書かれていた“実ほど頭を垂れる稲穂かな”が印象的でした。
お店に何うとスタッフの皆さんが実践されており、心地が良い空間でした。

H様 豊川市【本店】

亡き会長であるお祖母さまが、近所の子供だった私の事を覚えて下さっていて、
大人になってお店に訪れた時とても喜んで下さった事忘れられません。
とても長いおつきあいをさせて頂いています。

S様 豊川市【本店】

会報誌の巻頭については毎回特に楽しみに読ませて頂いております。
今回の己喜様の言葉“敬う想い”で感謝を伝えていける機会が増えたら、謙虚で暖かい想いで
過ごしやすい社会になって行く様願っております。…どうぞ温まるお年をお迎えください…という
文章とても心に残りました。いつもありがとうございます。